

三条市の魅力発信に向けた取り組み

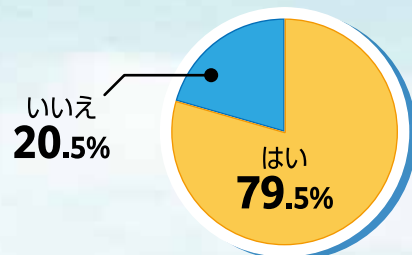
三条市では、台湾出身、新潟県内在住で、県内の魅力的なスポットや食、体験などをInstagramやフェイスブックで発信している「新潟越後老姫^{えちごろうひめ}」さんのご協力で、台湾の人に向けて三条市に関するアンケートを行いました。アンケート結果は、三条市の魅力発信に向けた検討に生かしていきます。



新潟越後老姫さん

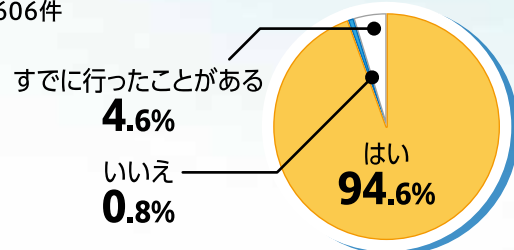
① 三条市のことを知っていますか？

回答1,430件



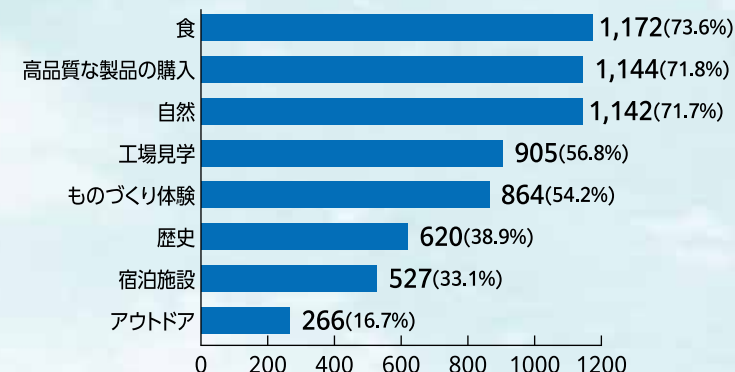
③ 三条市に行ってみたいと思いますか？

回答1,606件



② 三条市の何に興味がありますか？（複数選択可）

回答1,593件（その他除く）*（）は全件数における割合



新潟越後老姫さんの
Facebookフォロワーに
向けて7月に実施



インバウンドに向けた 多言語による 情報発信をしています



三条市公式観光サイト SANJO NAVI

英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語に対応した旅行者向けのホームページ

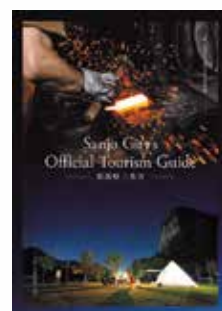


SANJO NAVI 英語ページ



SANJO NAVI

SANJO CITY（英語、中国語によるパンフレット）



英語版



中国語版

Slow&Steady Shitada

英語、中国語に対応した下田地域を中心としたホームページ



Slow&Steady Shitada



Slow&Steady Shitada中国語（繁体字）ページ

インバウンド誘致のための取り組み

「燕三条が台湾に響かせたものづくりの心」

燕三条地域の企業で構成される燕三条貿易振興会が、台湾の台北市で令和6年2月と令和7年3月に「燕三条工業・工芸文化交流展」を開催しました。交流展のテーマは、商品を手取るだけでなく、実演やワークショップを通じて燕三条のものづくりの技を間近で体験し、職人の情熱や哲学に触れてもらうことです。

このイベントでは、三条市も連携し観光のPRをしました。燕三条のものづくりに魅了された人々を、次は燕三条への観光誘致へとつなげられるよう、三条市の観光スポットや、体験、食、宿の魅力などを発表しました。



三条市によるPR

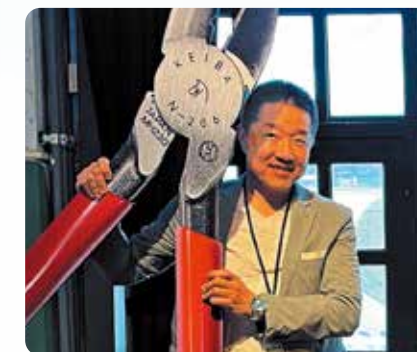


大盛況 最大2時間半以上の入場待ちも

「海外出展を契機にインバウンドを誘致」

「燕三条工業・工芸文化交流展」では、出展イベントが認知されてきています。2回目の開催では、4日間で約9,300人が来場、6,100万円を売り上げる盛況ぶりでした。燕三条製品が海外で高評価を受けていることは、地元企業にとって励みになりますし、来場された人が三条市に旅行に来られたケースもあり、イベントの効果を体感しています。

燕三条貿易振興会では、燕三条地域でのインバウンド消費に結びつけるツアーを実施しています。燕三条地域の魅力を伝えるとともに経済活性化の好機となることを期待しています。



燕三条貿易振興会 会長
はせがわ なおや
長谷川 直哉さん

「世界から選ばれるために」

来年開湯100年を迎える下田の越後長野温泉で旅館を営んでいます。近年は海外からのお客様も増え、建物の趣や自然の景観、郷土の味を楽しみに来られる人や、「日本秘湯を守る会」のスタンプラリーがきっかけという人もおいでになります。

三条観光協会の会員として感じるのは、情報発信、移動手段、観光マップなど受け入れの仕組みを整えることの重要性です。下田の魅力を広げるには、アジア向けには冬の雪深さ、欧米向けにはサイクリングや自然散策の楽しさを伝えていくことがポイントです。例えば、八木ヶ鼻を真下から見上げる遊歩道や自然を静かに眺められるテラスを設けることも、風土を生かしたにぎわいづくり、訪れる人の心をひきつける契機になると考えます。



三条観光協会
おおたけ けいご
大竹 啓五さん

